

小学校 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成28年11月2日(水) 公開授業Ⅲ

学 級 小学校 1年

男子3名 女子3名 計6名

場 所 小学校 1年教室

指導者 山村紀子

1 単元名 くらべて よもう 「じどう車くらべ」

2 単元設定について

本単元は、学習指導要領第1学年及び2学年の【B書くこと】「イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」「ウ 語と語や文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」【C読むこと】「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと」【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項(エ) 長音、拗音、促音、撥音などの表記ができ、助詞「は」、「へ」、及び「を」を文の中で正しく使うこと」の力をつけるために適した単元である。

児童はこれまでに、「くちばし」で「問い+答え」の繰り返しで構成された文章を、さらに「うみのかくれんぼ」で「問い+答え+答え+答え」で構成された文章を学習してきた。「くちばし」では、くちばしクイズを作り、くちばしの特徴と働きの読み取りを生かすことができた。

そこで、本単元では、じどう車しょうかいカード作りを単元に位置づけた言語活動として行いたい。これまでの説明的文章の内容の大体を読むことを既習事項ととらえ、自分の思ったことや新たにわかったことをじどう車紹介カードにまとめるために、文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことを重点にしたい。また、児童が、興味・関心もちやすい、乗り物についての読み物にたくさん触れさせ、意欲的に学習を進めることができるように、参考図書を一人一冊以上揃え、常に手元に置いて学習をしていきたい。

3 単元の目標と評価規準

◎知識を得るために、簡単な事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。

○事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。

【国語への関心・意欲・態度】

・自動車について説明されている絵本や図鑑、文章などを読み、進んで調べようとしている。

【読む能力】

- ・事柄の順序を考えながら読み、内容の大体を理解している。
- ・本や文章の中から必要な言葉や文を書き抜いている。
- ・知識を得るために本や文章を進んで読んでいる。

【書く能力】

- ・事柄の順序に沿って、簡単な構成を考え、「そのために」を用いて、文と文の続き方に注意しながら、つながりのある文章を書くことができる。
- ・自分が紹介するカードに書く題材に必要な事柄を明確にとらえ、書いている。

【言語についての知識・理解・技能】

・長音・拗音・促音などの表記や、句読点を正しく使って書くことができる。

4 単元の指導計画および評価規準（12時間扱い 本時7／12）

次	時	学習活動
第一 次	1	1 学習内容をつかみ、学習の見通しをもつ。 ・自動車について知っていることを話し合い、学習の意欲をもつ。 ・学習したことを自動車しょうかいカードにまとめていくことを知る。 ・学習計画を立てる。
	2	
第二 次	3	2 全文を読み、「じどう車くらべ」の問いや文章構成の大体をとらえる。 ・2つの問い「しごと」と「つくり」があることを確認する。
	4	3 バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み、カードにまとめる。
	5	4 トラックの「しごと」と「つくり」を読み、カードにまとめる。
	6	5 クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み、カードにまとめる。
第三 次	7	(本時)
	6	6 はしご車の「しごと」と「つくり」を考えたり、調べたりしてカードにまとめる。
	8	7 自分が選んだ自動車について、「しごと」「つくり」をカードにまとめる。
	8	8 これまで自分が作った自動車しょうかいカードをまとめる。
	9	9 みんなで自動車しょうかいカードを読み合っ、感想を交流し合う。
12	10 これまで学習したことを振り返る。	

5 本時の目標

はしご車の「しごと」と「つくり」を考えたり、資料から読み取ったりし、はしご車の自動車しょうかいカードを書くことができる。

6 本時の指導の構想

(1) 「見通しと振り返り」の位置づけ

見通し 前時までの学習をもとに自分で考えることと、図鑑の紹介のモデル文からじどう車しょうかいカードを書くことを知る。前時までの文型を基に「しごと」と「つくり」を「そのために」でつないで書けばよいことを知る。

振り返り 本時の活動を振り返り、前時までに学習した「しごと」と「つくり」を見つけ、「そのために」で文をつなぐことができれば、自分でしょうかいカードを書くことができることがわかり、次時の活動の意欲をもつことができる。

(2) 指導構想及び留意点

前時までに読み取った自動車の「しごと」と「つくり」を基に、はしご車の「つくり」を挿絵から考えたり、参考図書から見つけたりしてまとめることをねらいとする。ただし、前時までの自動車とは違い、「しごと」と「つくり」が本文に書かれていない。児童は、教科書の挿絵、参考図書からはしご車の「しごと」と「つくり」を読み取ったり、考えたりすることが必要である。

前時までの学習を基に、はしご車の「しごと」と「つくり」をじどう車紹介カードにまとめる際に、教師が作成した図鑑の紹介のモデル文を使い、じどう車紹介カードを作成する。図鑑の紹介文は、「しごと」と「つくり」以外の文章があったり、「しごと」と「つくり」がわかりにくかったりする。そこで、本時の学習で、図鑑の書き方に触れ、自分で紹介カードを作成する際に、必要な情報を取捨選択できるようにしていきたい。

(3) 評価規準

本時の評価規準	支援の手立て
はしご車の「しごと」と「つくり」を考えたり、資料から読み取ったりし、「しごと」と「つくり」のつながりを考え、はしご車の自動車カードを書くことができる。	教師の作成した資料から「しごと」とそれに関連した「つくり」を見つけられるようにする。

7 本時の展開

段階	学習活動	○指導上の留意点 ☆評価の観点
導入 5分	1 本文を音読する。 2 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 かだい はしご車の「しごと」と「つくり」をたしかめてのりものカードをつくろう。	○全文を音読し、前時の学習を想起させる。
展開 35分	見通し 3 学習の見通しをもつ。 (前時までとのちがひ。教科書に答えがない。)自分たちで、見つける。(挿絵、参考図書)自分たちで、考える。(生活経験) 4 はしご車の「しごと」と「つくり」について話し合う。 5 教師の作成したはしご車の図鑑の紹介のモデル文から、はしご車の「しごと」と「つくり」を関連づける。 6 調べたことをもとに、じどう車しょうかいカードを作成する。 7 しょうかいカードを交流する。 8 まとめをする。 まとめ はしご車は、たかいところのひをけすしごとをしています。そのために、ながくのびるはしごがついています。車たいがかたむかないようにしっかりとしたあしがついています。	○前時までの文章との違いに気づかせる。 ○自分たちで、「しごと」や「つくり」を調べたり、考えたりすることが必要であることを確認する。 ○はじめは、挿絵や生活経験からわかる「しごと」と「つくり」を全体で話し合い、さらに自分で調べたいという意欲をもたせるようにする。 ○教師が準備したはしご車の写真や説明で、図鑑の説明に慣れるようにする。 ○「しごと」と「つくり」の関係性が明確になるようにする。 ○紹介カードを書けない児童には、教科書の文型を参考に書くように助言する。 ☆【読】 はしご車の説明を「しごと」と「つくり」に分け、「そのために」を使って書いている。(ワークシート、発言)
終末 5分	ふりかえり 9 学習をふりかえる。	○次時は、自分の選んだ自動車のしょうかいカードを書くことを知らせる。 ○自分の学習について振り返りができるようにする。

じどう車くらびん

はしご車の「じごと」と「つくり」をたしかめて
じどう車しようかいカードをつくらう

はしご車の写真

- ・赤い色をしています。
- ・たかいところにいるひとをたすけるために、ながくのびるはしごがついています。
- ・タイヤがたくさんついています。
- ・車たいがかたむかないようにしっかりとしたあしがついています。
- ・まえがよく見えるように、大きなまどがついています。

しごと

たかいところにいるひとをたすける
たかいところのひをけす

そのために

つくり

ながくのびるはしごがついています
車たいがかたむかないように、
しっかりとしたあしがついています